

2022年 キリンビール事業方針 ～ブランドと人材を磨き上げ、企業価値を最大化する～

キリンビール株式会社（社長 堀口英樹）は、2022-2024 中期経営計画の初年度として、2022 年のスタートを切りました。従業員一人一人が「CSV^{※1} マインド」を持ち、ブランドを磨き上げることで、ブランドを通じてお客様と社会に貢献していきます。

※1 Creating Shared Value の略。お客様や社会と共有できる価値の創造

1. 2021 年の振り返り

2020 年に続き新型コロナウイルスの感染拡大・酒税改正などの影響を受けて、ビール類市場は前年比 95%程度で着地しました。当社は、お客様基軸の「正しい戦略」と「CSV マインド」の掛け算で変化する需要に応え、大びん換算で 1 億 2,410 万箱（前年比約 96%）と市場を上回る結果となりました。特にビールカテゴリーでは、主力商品の「キリン一番搾り生ビール（以下、一番搾り）」、「キリン一番搾り 糖質ゼロ^{※2}（以下、一番搾り 糖質ゼロ）」が好調に推移し、前年比約 104%と市場を大きく上回りました。また、2021 年 3 月に発売した「SPRING VALLEY 豊潤<496>」、同じく 3 月から本格展開を開始した会員制生ビールサービス「キリン ホームタップ」など新たな成長エンジンの育成へもチャレンジし、ビール類の魅力化および市場の活性化につながりました。

※2 100ml 当たり糖質 0.5g 未満のものに表示可能（食品表示基準による）

【2021 年販売実績】

ビール類計	ビール	発泡酒	新ジャンル	RTD	洋酒	ノンアルコール飲料
1 億 2,410 万箱 (-4.1%)	3,751 万箱 (+4.1%)	3,061 万箱 (+0.9%)	5,599 万箱 (-11.2%)	7,489 万箱 (+4.7%)	226 億円 (-14.5%)	387 万箱 (+10.9%)

*単位：ビール類・ノンアルコール飲料 大びん 633ml×20 本換算、RTD 250ml×24 本換算

*販売実績数は KL から万箱に換算後、1 桁目を四捨五入し 10 万ケース単位で算出

2. 2022 年の取り組み

2022 年もぶれることなく、「強固なブランド体系の構築」、「新たな成長エンジンの育成」を軸とした事業戦略を継続し、ブランドを磨き上げ、企業価値の最大化を目指します。酒税改正後で高まるビール需要に応じて、「一番搾り」ブランドのさらなる強化とクラフトビールの育成に取り組み、ビール計では前年比約 3 割増の販売数量を目指します。

(1) 強固なブランド体系の構築

主力ブランドをしっかりと育成し、酒税改正後も愛され続ける強固なブランド体系を構築します。2020 年 10 月に行われた酒税改正により減税となったビールカテゴリーには、お客様から引き続き高い関心が寄せられ、2022 年も同様にビールの需要は高まると考えられます。当社は、「一番搾り」、「一番搾り 糖質ゼロ」の育成に再注力することで、「一番搾り」ブランドを「日本のビールの本流」へと成長させていくことを目指します。新ジャンルカテゴリーでは、コロナ禍により加速した「低価格でも明確な価値がある商品」へのニーズは継続するとみています。「本麒麟」は“うまさ”をさらに進化させたりリニューアルを実施し前年比約 1 割増の再成長を目指します。

(2) 新たな成長エンジンの育成

クラフトビール事業では、「SPRING VALLEY 豊潤<496>」のリニューアルおよび「キリン ホームタップ」においてクラフトビールのラインアップを強化することで、高付加価値のビールを多くのお客様にお届けし、良質な飲用体験を通じたビールの魅力化、市場の活性化に引き続きチャレンジしていきます。

業務用市場では、「Tap Marché（タップ・マルシェ）」「TAPPY（タッピー）」の提案を強化することで、飲食業界が抱える課題や社会課題を解決しながら、お客様によりおいしいビールを楽しんでいただく機会を増やし、人と人が繋がる場の創出に貢献することを目指します。

【2022 年販売目標】

ビール類計	ビール	発泡酒	新ジャンル	RTD	洋酒	ノンアルコール飲料
1 億 3,230 万箱 (+6.6%)	4,730 万箱 (+26.0%)	2,850 万箱 (-6.9%)	5,660 万箱 (+1.0%)	8,200 万箱 (+9.5%)	250 億円 (+8.7%)	460 万箱 (+17.8%)

*単位：ビール類・ノンアルコール飲料 大びん 633ml×20 本換算、RTD 250ml×24 本換算

*販売目標数は KL から万箱に換算後、1 桁目を四捨五入し 10 万ケース単位で算出

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。